

## ● 予算委員会

### 今定例会の審議結果

審査の結果、令和4年度勝山市一般会計補正予算(第6号)を可決、令和4年度勝山市一般会計補正予算(第5号)に関する専決処分の承認を求めることについては承認しました。

### ◆ 土木費(8月4日の大雨災害の影響について)

8月4日の大雨災害を中心に、今冬への影響から山の保全に至るまで議論を展開しました。

委員▼8月4日の大雨災害で河川に大きな影響が出たが、今冬の排雪に影響はないか。

理事者▼仮復旧が済み、雪への対応はできていると認識している。今後問題が見つかった時点で対応していく。

委員▼例えば、女神川支流では流量がかなり減っていて、上流を確認するとその時点で水がない。大雨災害で山の環境が大きく変わり、保水力の低下等が考えられる。

委員▼森林環境譲与税を利用し、環境の復旧や保全が行えないか。

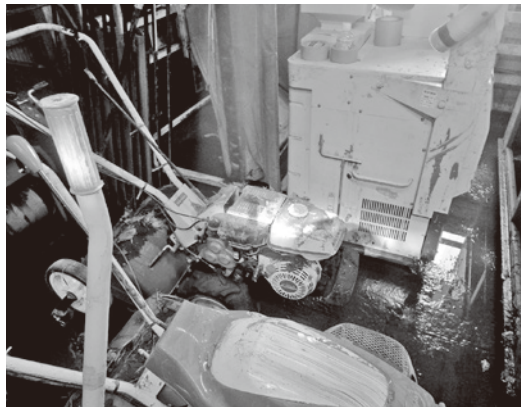
理事者▼森林環境譲与税を活用して山の保全を行えるよう検討している。

委員▼山の保全は、水資源の確保や治水、農業、内水面漁業など多岐にわたる影響をもたらす。それらを意識した対策が必要である。

### ◆ 営農継続緊急支援事業補助金

この補助事業は、令和4年8月の大雨によって発生した二次的な災害による甚大な農業被害によって、農産物の生産や加工に必要な施設・機械が破損し、被災した農業者等の農業経営に支障を来す事態となっていくことから、その再建等を支援し、営農の継続を図るための制度です。

委員会では、支援を受けるための基準が、事業費の整備内容ごとに50万円以上であることから、その金額を



被害を受けた農機具

下げることや機械の耐用年数・年式などの条件について議論が交わされ、委員からは、この制度を利用する被災者にとって利用しやすくなるようにしてほしいとの意見も出ました。

### ◆ 恐竜博物館、氷河期中

恐竜博物館休館対策として、かつやま恐竜の森わいわいワールド開催事業、鯉のぼりAgari事業、その他3つの事業の説明を受けました。

委員からは、すでに休館に入ってしまったている、冬季宿泊全体に対応できないか、GWの次の土日は閑散期と思うが、集客につながるかの判断か等の意見がありました。

理事者からは、昨シーズンの県の県民向けスキークーポンが、本年度は全国版に広がり冬場に対応する。閑散時期も考慮し、市内の事業者と打ち合わせを重ねて出した計画であるとの説明がありました。鯉のぼりに関しては、当面継続していく意向を示しました。

会議の末、冬季の対策、4月から事業の不安点に関しては、その期間までに再度見直すこととなりました。

### ◆ えちぜん鉄道燃料価格高騰対策支援事業補助金

原油高による市民生活や経済活動を支える社会インフラとして、えちぜん鉄道(株)に対して、県および沿線自治体連携の下、昨年度と比べた電気料金高騰分を支援します。

影響額の見込み3800万円を県が2分の1、沿線市町が2分の1として、勝山市はその24%の456万円を予算額として計上しています。

委員▼24%の算出根拠は。理事者▼勝山市内の路線の長さ、人口割、乗客数等を考慮して算出している。市の負担割合は、沿線市町の合意の上、決めている。

## 特別委員会報告

### ● 議会改革特別委員会

オンラインの方法による委員会の開催について議論し、オンライン会議を導入することの必要性は認識しているものの、スムーズな委員会運営のためには、接続の確実性やある程度の経験が必要との意見があり、手順書などを作成して、試行してみることになりました。

また、決算特別委員会・議会広報特別委員会の常任委員会化について